

はじめに

下野市教育研究所長 池澤 勤

下野市教育研究所では、学校教育の向上・充実を目指し、4事業（調査研究、研修、教育相談・適応支援、資料収集・広報）を展開して参りました。市内11の小学校と4つの中学校の御協力のもと、各研究部及び各校からの研究報告がまとまり、今年度も「研究集録 第14号」を刊行することができました。

本集録では、各研究部から「小中一貫教育研究」「学校図書館活用研究」「学校食育研究」「情報教育研究」「特別支援教育研究」について、調査研究を行った成果や課題をまとめております。また、各校からの研究報告として、全小中学校の学校課題の研究実践についての概要を掲載いたしました。こんな児童生徒に成長させたいという全職員の願いを基に、各校の課題解決に向けた研究に一人一人の教職員が携わっていただけたことを確信しております。

さらに、S&Uコラボ事業（下野市と宇都宮大との連携研修事業）による授業研究会、とちぎっ子学力アッププロジェクト（学力向上推進事業）等と連携し、各校独自の研究も進んでいます。各校がPDCAサイクルを活用し、充実した活動がなされたことを再確認いたしました。

先生方におかれましては、本研究集録を、自校の研究実践の振り返りとしてだけでなく、他校の研究の取組や成果から学ぶとともに、各校において次年度の授業改善や研究推進に大いに役立てていただきたいと思います。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、長期間の休業や分散登校に始まり、日々の教育活動にも多くの制限がかかってしまいました。そのような状況にあっても、各校においては様々な工夫や御努力により、本研究集録にもあるような多くの実践が行われました。市教育研究所といたしましても、本年度の事業を振り返り、次年度も学校や地域とより強く連携して、下野市の学校教育の充実に寄与できるように努めて参りますので、今後とも御協力・御支援をよろしくお願いいたします。

結びになりますが、研究集録の作成に際しまして、調査研究や実践、そして執筆編集に当たられた関係者の御尽力・御協力に対し、心から感謝を申し上げます。

令和3年3月